

葛城市全体で 338 世帯が参加 1152 kg-CO₂ 削減しました

2024 エコチャレンジシートを活用した温室効果ガス削減効果

2025 年 2 月 奈良県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO 法人奈良ストップ温暖化の会NASO)

4 年生を対象とした地球温暖化防止の環境学習後、各家庭での取り組み状況を記入してもらった「エコチャレンジシート」を数値化し、各家庭の取り組みによる CO₂ 排出量の削減効果として集計しました。

◆プール 1.9 個分の広さの太陽光パネルで発電したのと同じ効果

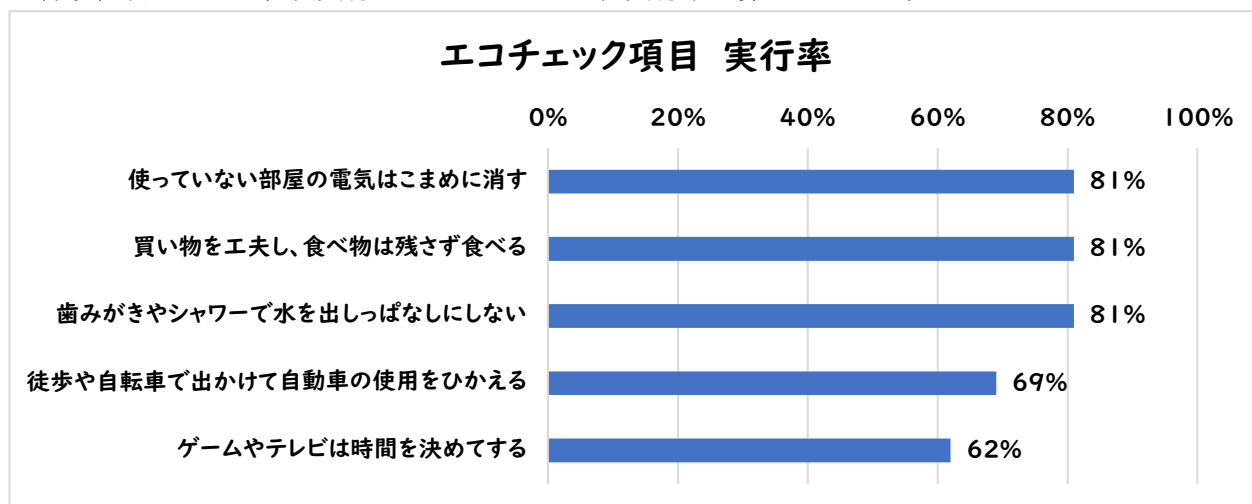
参加世帯数は 5 校 338 世帯、7 日間あたりの CO₂ 削減量は 1152kg-CO₂ となりました。

これを継続すると 1 年間で 60t-CO₂ の削減となり、一般的な学校のプール (25m×15m) 1.9 個分の広さの太陽光パネル (約 143kW) を設置し発電することで、家で使う電気からの CO₂ 排出量を減らすのと同じ効果となります。設置した場合には約 2500 万円かかるので、経済的にも効果のある取り組みといえます。

1 人ひとりの力は小さくても、集まると大きな力となります。これらの取り組みをライフスタイルに組み込み、家族とともに継続することで地球温暖化の進行を止めることにつながります。

◆上位 3 つの取り組みは、10 人中 8 人以上が行動できた

各取組項目がどの程度実行されたかについて、実行率を算出しました。



実行率の最も高かった項目は「使っていない部屋の電気を消す」(81%)、「買い物は工夫し、食べ物は残さず食べる」(81%)、「歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない」(81%) が同程度で上位 3 項目は 80%以上の取り組みができました。

◆温室効果ガス削減量は「自動車の使用を控える」がトップ

次に、取り組み項目別の削減量を算出しました。エコチェックシートで取り組んだ項目と、実行された場合の 1 家庭 1 日あたりの削減量のめやすは以下のとおりです。削減量の集計に際しては、「できた」場合は表の削減量、「半分できた」場合は表の削減量の 1/2 量としました。

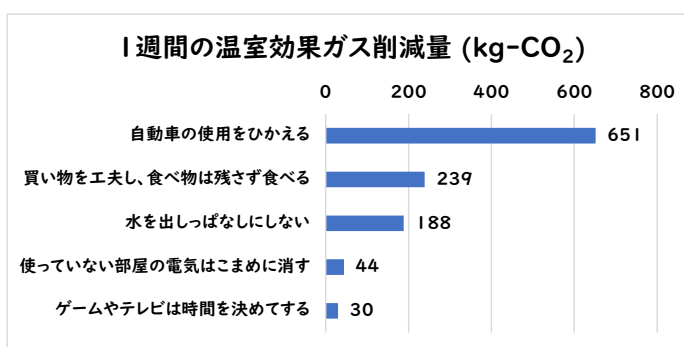
■エコチェックシートの取り組み内容と削減量のめやす

項目	CO ₂ 削減量のめやす (g-CO ₂ /日 世帯あたり)
使っていない部屋の電気を消す	23
テレビは見たい番組だけ	20
買い物を工夫し、食べ物は残さず食べる	125
歯磨きやシャワーで水を出しっぱなしにしない	98
自動車の利用を控える	400

取り組み実施期間である7日間あたりのCO₂削減量は、「自動車の使用を控える」が最も多く、651kg-CO₂であり、全体の約57%を占めていました。自動車からの排出量は1回あたりの削減量が多いことから、削減効果が得られやすいことがわかります。削減効果の大きな項目に積極的に取り組むとともに、削減量は小さくても意識を高めることができました。

■学校別参加世帯数及びCO₂削減量

	学校名	参加世帯数	温室効果ガス削減量 (kgCO ₂ /7日間)
1	新庄小学校	127	420
2	忍海小学校	48	166
3	新庄北小学校	31	120
4	磐城小学校	107	350
5	當麻小学校	25	96
	合計	338	1152



参加した家庭の多くが8割程度以上の取組に実行できたことから、子どもへの教育を通じた各家庭への温暖化防止普及啓発活動は非常に効果的であり、継続の意義は高いと考えられました。

◆取り組みの感想など

<取り組んでみた感想(抜粋)>

- ゲームやテレビの時間をきめてできなかったからこれからはしっかり時間をきめてがんばりたいです。
- いままで水をへらすことができなかったけど、これをすると水をへらすことができました。
- これからも、地球が暑くならないように取り組みをつづけたいです！
- これからもエコチャレンジの紙がなくてもCO₂をへらすとりくみをしていきたいです。
- れいぞう庫を開けたら、すぐ閉めるように声かけをした。
- 買い物を工夫し、食べ物は残さず食べるをつづけたい。
- 取組んでもみて毎日つづけたらそのくせがついた。
- これからも、ちかいところは、自転車でいこうとおもった。
- CO₂をへらすのはかんたんではないと思うけど1人1人がやったらたくさんへる。
- 食べ物の食べる量を決めること。
- エアコンはタイマーを使ってもいがいとすずしいからずっとやろうと思いました。
- 一週間やってみて、買い物を工夫し、食べ物は残さずたべることができました。
- 追いだきをせずに順番に入るのは、あまり大変でないのに、それがエコになるならこれからつづけようと思った。

<保護者より（抜粋）>

- 普段からムダ使いはあまりしませんが、特に買い物へのムダ使いの意識は高まり、よく考え、購入していました。
- 取り組んでいた1週間、いつも以上に意識して部屋の電気を消す、ご飯を残さないなど、がんばっていました。親としても、子どもにはずかしくないように取り組もうと思います。
- 取り組みを考えたり、話したりすることで、いつも以上に気をつけて生活していたように思います。自分で考えて、その上で行動することの大切さにも改めて気づかされました。
- 『電気とクルマがエコのツボ』という事で、子どもと話し合い、「日中は電気は必要な時だけ」と決め、取り組んでくれました。私も、近い距離でも車で行っていたので、歩いたり自転車で رفتりして、一緒にチャレンジできました。身を守る為に続ける事が大切だと話せるいい機会になりました。
- 地球の温暖化や、水の汚れにも関心を持ち、調べたり本を読んでいる姿がありました。大人が子どもの言葉から学ぶこともあり、自動車の使用も意識していこうと思います。
- 買い物に行く時「エコバックは？」と言ってくれるようになりました。
- 地球温暖化が深刻化する中でこの取り組みは子ども達の意識を高める中で、親の私達も考えさせられるのですばらしいと思いました。毎日の事なので、コツコツすれば子ども達の未来の為に明るくなると思うのでこれからも意識しながら続けて行こうと思います。
- 今までTVを消さない、電気はつけっぱなしが当たり前でしたが、温暖化の話聞いてから、自分から気にするようになった。
- クーラーの温度を一度下げましたが扇風機で送風したらそんなに暑くは感じませんでした。これからは地球温暖化防止に気をつけて生活していこうと思います。
- CO2の「見える化」は、分かりやすくおもしろいですね。子ども達の方が、エコを実践していました(^v^) 私達大人の方が、積極的に動かないといけないなあ～。と思いました。
- エアコンは28°に決め、1つの部屋で家族で寝たり、できる事について子どもと会議でき、日頃「これエコかな？」と口に出せるようになり、大きくは地球を守ることになるお話もでき、いい機会をいただきました。

<自分で考えた取組の一例>

- 物を大切に使える物は再利用する
- お風呂の追い炊きをしないために順番にすぐに入る
- いらなくなった紙の裏側をメモ用紙に使う
- 天気のいい日や、明るい日は、カーテンをできるだけあけて、電気を使わないようにする
- 飲み物は水筒を持っていく
- 地元のものや季節のものを食べる
- せんぱうきは1、2時間で自動で止まるように設定する
- ドアトリバはすきまなくしめる
- ドライヤーの時間を1分にする